

2019 年度 自己点検・自己評価

実施日：2020年7月1日

実施責任者：校長 川瀬 節子

実施担当者：神谷(谷山) 文子(主任教員)、久田 かおり(専任教員)、西田 文乃(事務局)

1. 教育の理念・目標

1-1 理念・目標は定められているか	1	2	3	4	⑤
1-2 学校の将来構想を抱いているか	1	2	3	4	⑤
1-3 理念に基づく教育が行われているか	1	2	3	4	⑤

公益財団法人名古屋YWCA がキリスト教の基盤に立ち、女性及び青少年のリーダーシップを育て、持続可能な社会を創造し、すべての人にとっての正義と平和を実現するという目的に従い、語学教育を通して国際理解と交流を進めることをその趣旨として、日本語教育を行っている。

理念・目標はパンフレット、HP等に明記し、教職員・学生に伝えている。

学校の将来像については、毎月行われる職員会議にて、職員・専任教員間で常に話し合われている。

2. 学校運営

2-1 運営方針は定められているか	1	2	3	4	⑤
2-2 事業計画は定められているか	1	2	3	④	5
2-3 運営組織や意思決定機能は確立され、効果的なものになっているか	1	2	3	④	5
2-4 人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか	1	2	3	4	⑤
2-5 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	1	2	③	4	5
2-6 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか	1	②	3	4	5
2-7 危機管理体制は整備されているか	1	2	3	④	5
2-8 施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるように整備されているか	1	2	3	④	5

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言発生中は学生の身の安全を第一に考え、休校措置をとった。休校期間中はオンラインクラスルームを実施し、学生たちとのつながりを維持し、学生の心身の状況を把握するよう努めた。

また緊急事態宣言解除後も教職員・学生の検温、校内のアルコール消毒、換気、ソーシャルディスタンスの確保を徹底し、授業を行っている。

2019年10月より学生証アプリを導入し、出席管理のオンライン化、および各学生への緊急一斉連絡、学生から学校への連絡を可能にした。コロナ禍においてもこのアプリを利用し、学生の健康状態の確認やオンライン授業の告知等を行った。

また安全確保のため、年1回の避難訓練を行う他、危機管理マニュアルの整備、防災用品を学校内各所に備蓄している。

3. 教職員

3-1 教育理念・目的が教職員間で共有されているか	1	2	③	4	5
3-2 教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか	1	2	3	4	⑤
3-3 教職員評価を行っているか	1	2	3	④	5

毎月全講師が参加する「講師会」を実施し、教材開発、指導方法の検討、情報共有などを行い、全体の教育の質の向上のため努力している。

新任教員に対しては専任教員が1年間の教案指導等の研修を行っている。

また近隣の日本語学校と合同で「講師合同勉強会」を開催し、日本語教育に関する専門家を招き、教員に学びの場を提供している。

4. 教育活動

4-1 カリキュラムは体系的に編成されているか	1	2	3	4	⑤
4-2 授業評価の実施・評価体制はあるか	1	2	3	④	5
4-3 目的に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか	1	2	3	④	5
4-4 成績評価は適切に行われているか	1	2	3	4	⑤

様々な目的に向けた授業ができる経験豊富な教員を多く有する。

学生や社会のニーズを踏まえ、専任教員を中心に常にカリキュラムの見直しを行っている。

5. 学生支援

5-1 進学・就職指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	1	2	3	④	5
5-2 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	1	2	3	④	5
5-3 学生の心身の健康管理・事故・怪我サポートを担う体制があり、有効に機能しているか	1	2	3	④	5
5-4 保護者と適切に連携しているか	1	2	3	4	⑤
5-5 日本を理解するための支援が適切に行われているか	1	2	3	④	5

学期中に個別インタビューを実施し、進学や就職の希望、生活の悩みなどを聞き取り、対応をしている。

学生災害傷害保険に加入し、病気や怪我への備えを行っている。

日本在住の身元保証人がいることを入学条件としており、入学前に学生とともに面接を行っている。学校生活に何か問題が生じた場合、すぐに身元保証人に連絡をするようにしている。

6. 在留管理と生活指導

6-1 入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか	1	2	3	④	5
6-2 日本の法令を遵守するための指導を行っているか	1	2	3	④	5
6-3 常に最新の学生情報を把握しているか	1	2	3	④	5

留学生に対し入学時と入学オリエンテーション時に、入管法上の留意点について説明している。教職員は担当教員と連絡を密にとり、学生の状況を常に把握するように努めている。

7. 学生募集と受け入れ

7-1 学生の受け入れ方針は定められているか	1	2	3	4	⑤
7-2 学生募集活動において、教育成果を正確に伝えられているか	1	2	3	④	5
7-3 入学選考は適切かつ公平な基準に基づき行われているか	1	2	3	4	⑤
7-4 適正な定員設定および在籍者数になっているか	1	2	③	4	5

募集要項に明記された入学条件の下、受け入れを行っている。留学仲介会社を通さず、直接入学申込があった学生のみ受け入れている。

学校 HP を一新し、学校の理念や活動状況、募集要件など、よりわかりやすく提供できるようにした。

8. 財務

8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	1	2	3	4	⑤
8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	1	2	3	4	⑤
8-3 財務について会計監査が適正に行われているか	1	2	3	4	⑤
8-4 財務情報公開の体制整備はできているか	1	2	3	4	⑤

日本語学校の予算・決算を設置者のものと区分して編成し、遂行している。
財務諸表は財団の監査を経て、HP 上に公開している。

9. 法令等の遵守

9-1 法令、設置基準等の順守と適正な運営がなされているか	1	2	3	4	⑤
9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	1	2	3	4	⑤
9-3 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に務めているか	1	2	③	4	5
9-4 自己点検・自己評価結果を公開しているか	1	2	3	4	⑤
9-5 関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか	1	2	3	4	⑤

学生の個人情報について、紙ベースの書類は施錠ができるキャビネット、電子データはパスワードを設定し管理している。

毎年自己点検を実施し、7月1日に公開することを決定した。

10. 社会貢献

10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	1	2	3	4	⑤
10-2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	1	2	3	4	⑤

名古屋市内の高校、学童保育を訪問し、自国の文化を紹介、交流を行った。

年に1度、名古屋市立大学のゼミ生を受け入れ、多文化共生について学ぶ場を提供している。

名古屋 YWCA で開催するバザーやブックフェス等のイベントでは、当校の学生がボランティアスタッフとして活躍している。

また 2019 年度は開校 30 周年であり、「にほんご学びな祭」という 30 周年記念イベントを実施し、無料日本語クラスを実施した。